

事務局だより

1. 平成4年度総会

恒例により、大会委員長（荻野七重教授）を議長として選出し、以下の報告および審議・決定がなされた。

<報告>

(1) 事業報告

- 1) 会員移動状況
- 2) 会費納入状況
- 3) 公開シンポジウム開催について
- 4) 機関誌発行について

(2) 心理学諸学会連絡会報告

(3) 国際心理学記念運営委員会報告

(4) 応用心理士（仮称）資格認定検討委員会報告

(5) 第58回大会会計報告

開催校、北星学園大学より報告された。

(6) その他

a) 入会申し込み書の形式、「紹介者」のところに印を押す箇所を作る。

b) 名誉会員が大会に参加するとき、参加費、懇親会費を徴収しない。論文集代と論文掲載料は徴収する。

<審議>

(1) 平成3年度決算について

監査委員の田之内厚三、馬場房子両氏の監査を受けた決算書が事務局より提出され、承認された。

(2) 平成4年度予算案について

常任運営委員会、運営委員会において承認された後、総会において承認された。

(3) 平成6年度（第61回）大会開催校は、城西大学に決定（大会委員長 駒崎 勉教授）。

(4) 第60回大会開催校・第61回大会開催校挨拶。

2. 一般活動報告・事務諸報告

(1) 第59回（平成4年9月21日、22日）白梅学園短期大学において開催。盛会のうちに終了。

(2) 『応用心理学研究』第17号の印刷ができ、会員および関係機関に送付した。

(3) 平成4年度公開シンポジウムの開催（平成4年11月28日、於：駒沢大学）。テーマ「宗教と癒し」、画企・司会 中村昭之（駒沢大学） 話題提供 佐々木宏幹（駒沢大学）、佐々木雄司（獨協大学）、恩田 彰（東洋大学） J. クスマノ（上智大学）

3. 第59回大会発表状況

個人発表 111件 シンポジウム 9件 小講演 4件
公開講演 1件

4. 会員移動（前号掲載以降の分、敬称略）

新入会員（氏名 ①現住所 ②所属）別掲

退会者（含：長期会費滞納者、順不同、敬称略）別掲

平成3年度決算報告

収 入			支 出		
項 目	実 行 額	予 算 額	項 目	実 行 額	予 算 額
繰越金	1,605,094	1,605,094	58回大会補助費	500,000	500,000
会費	<u>3,165,500</u>	<u>3,396,000</u>	シンポジウム費	232,690	250,000
過年度分	220,500	396,000	印刷費	<u>1,306,470</u>	<u>1,650,000</u>
	(4500×49)		機関誌	1,223,640	1,500,000
本年度分	2,925,000	2,970,000	その他	62,830	150,000
	(4500×650)		通信費	<u>134,128</u>	<u>250,000</u>
賛助会費	20,000	30,000	機関誌	51,212	50,000
雑収入	15,000	50,000	その他	82,916	200,000
			機関誌編集費	105,865	150,000
			名簿作成積立金	400,000	400,000
			ミニ通信費	82,280	150,000
			さいころじすと	81,666	70,000
			諸学会連絡会費	7,000	7,000
			交通費	70,000	200,000
			事務局費	451,666	450,000
			アルバイト費	174,450	200,000
			予備費		460,000
			次年度繰越金	1,239,379	314,094
合 計	4,785,694	5,051,094	合 計	4,785,594	5,051,094

上記予算とは別途に今年度の支出済の40万を合計すると70万の積立金がある。

監査委員 田之内 厚 三 ㊞

監査委員 馬 場 房 子 ㊞

平成4年度予算案

収 入		支 出	
項 目	予 算 額	項 目	予 算 額
繰越金	1,239,379	59回大会補助費	500,000
会費	<u>3,326,000</u>	シンポジウム費	250,000
過年度分	204,750	印刷費	<u>1,600,000</u>
	(4500×910×0.05)	機関誌	1,500,000
本年度分	3,071,250	その他	100,000
	(4500×910×0.75)	通信費	<u>250,000</u>
賛助会員	50,000	機関誌	50,000
雑収入	50,000	その他	200,000
		機関誌編集費	120,000
		名簿作成積立金	400,000
		ミニ通信費	150,000
		さいころじすと	80,000
		諸学会間連絡会費	7,000
		交通費	200,000
		事務局費	450,000
		アルバイト費	200,000
		予備費	260,000
		繰越金	98,379
合 計	4,615,379	合 計	4,615,379

本年度の名簿作成に関しては別会計とし、過年度までの積立金 700,000 より支出する。

日本応用心理学会第58回大会決算

1991年8月30・31日

於：北星学園大学

収 入			支 出		
摘 要		金 額	摘 要		金 額
大会参加費		1,097,500	印 刷 費		1,025,309
〔内訳〕 予約分	4,500×133	598,500	〔内訳〕 大会案内・封筒など		152,440
当日分			原稿用紙		15,450
正会員	5,000×52	260,000	発表論文作成要領		13,905
臨時会員	5,000×39	195,000	プログラム		250,290
学生会員	1,000×22	22,000	ポスター		40,170
午後のみ	1,000×22	22,000	スタッフ名札		9,270
論文集代金		918,500	参 加 章		20,600
〔内訳〕 予約分	4,500×173	778,500	発表論文集		463,500
当日分	5,000×26	130,000	その他、コピー代など		59,684
後日分	5,000×1	5,000	通 信 費		436,167
写真掲載料		5,000	〔内訳〕 大会案内郵送費		52,254
プログラム代金		600	発表題目確認用葉書代		6,150
懇 親 会 費		343,000	プログラム郵送費		230,270
〔内訳〕 予約分	3,500×42	147,000	プログラム・ポスター郵送費		40,005
当日分	4,000×49	196,000	論文集郵送費		54,220
広 告 料		349,485	その他(切手・葉書)		44,446
賛 助 金		120,000	電話・FAX代		8,822
大会補助費(学会事務局より)		500,000	交 通 費		332,600
大学補助金		500,000	〔内訳〕 懇親会用バス(2台)		57,680
その他(寄付金)		5,000	タクシー代		154,920
			出張費		120,000
			人 件 費		532,235
			文具・雑貨		162,756
			懇 親 会 費		490,640
			会場備品レンタル料		99,549
			茶菓代〔控室用〕		87,223
			講演・シンポジウム費		249,483
			準備委員会会合費		170,660
			大会運営費		247,463
合 計		3,834,085	合 計		3,834,085

1992年度第4回(10月)

日本応用心理学会常任運営委員会議事録

日時：1992年10月30日(金)

場所：駒沢大学大会会館 3-2会議室

出席者：(省略)

会長就任挨拶(島田)

報告事項：

1. 第60回大会準備状況(島田会長)

① 全体にわたる計画

② 第1号通信案

以上2つのプリントにもとづいて、大会の概略が説明された。今回は論文集原稿の提出は発表当日とし、発行は大会後になる。

2. 諸学会間連絡会関係(小野)

9月29日の第2回の議事録のコピーを次回の常任運営委員会で配布したい。

3. 事務局報告

(1) 本年度、第59回大会の報告は、次回の常任運営委

員会において荻野前会長からなされる予定である。

審議事項：

1. 60回大会における特別企画について

島田会長より、今回の60回大会における特別企画について提案があった。一案として、本学会の長老に学会の歩みについて講演してもらうことを考えている。これに関連して、以下のような意見が出た。

①この機会に大会発表論文集のバックナンバーの欠号を補って完結させ、それを展示したらどうか（村井前事務局長の時にかなり集めてあるので、名誉会員を中心に連絡して欠号を寄贈してもらう）。

②過去の大会のプログラムを揃える。

①、②の企画については、大会準備委員会と事務局が連絡を取り合って進める。

2. 「応用心理士」（仮称）資格認定問題について（中村）

前回より進展なく、従って審議すべきことはない。本日、常任運営委員会終了後、委員会を開催するので、次回その内容を報告する。

3. 学術情報センター、データベースの件

すでに本学会の大会論文集の文字情報の使用は承諾しているが、今回新に画像情報（本文や図表）についても承認することにする。

4. 新入会員審査 中村事務局長より、12名の申し込み者のうち紹介者の印のないものが8名いるが、それは印を押すことが決定される以前のものであるとの説明があった。12名承認。

その他：

1. 次回常任運営委員会開催日 11月28日（土）5：00より

2. 大村委員より、高嶋正士（共立女子大学）が、第62回大会の開催を希望している旨の紹介があった。

1992年度第5回（11月）

日本応用心理学会常任運営委員会議事録

日時：1992年11月28日（金）

場所：駒沢大学大学会館 3-2会議室

出席者：島田・大島・大久保・恩田・駒崎・斎藤・高橋・平野・宮本・村井・荻野（中村・小野）

報告事項：

1. 第59回大会報告（荻野前会長）1992. 9. 21～22

大会参加者	正会員（予約）	176名	476名 + 50名 + 公開講演参加者
	当日会員	62名	
	非会員連名者（予約）	11名	
	臨時会員2日間	9名	
	1日	77名	

学生会員 22名

同窓生会員 118名

非会員参加申し込み 1名

懇親会参加者 予約 49名 } 84名 + 招待者 + 学園関係者
当日 35名

論文集 予約 204部 } 342部
当日以降 138部

研究発表 111

シンポジウム 9

小講演 4

公開講演 1

2. 第60回大会準備状況（島田会長）

特別企画の件。

①応用心理学会の“歩み”を語る、といったようなものを実施したい。

②過去の大会のプログラムの整備、展覧の企画についても、事務局と協力の上進めたい。

3. 諸学会間連絡会関係（小野）

第2回の議事録のコピーを配布した。

4. 「応用心理士」（仮称）資格認定問題について（中村）

10月30日の委員会において、以下の点が確認された。

①本会の会員であることを基礎資格とする。

②以下の要件を一つ以上満たしていること。

A. 「応用心理学研究」に一編以上の掲載論文がある

B. 本会大会での研究発表が2本以上

C. 専門職に3年以上ついていること

以上の点を踏まえて、具体的な規約の草案作りに着手することになり、島田会長が作成してきたその草案のたたき台ともいべき文書が紹介された。このたたき台を基に、今後委員会ですらに検討してゆく。

5. 平成4年度公開シンポジウム報告（中村）

11月28日（本日）、午後1時～4時。駒沢大学において、「宗教と癒し」というテーマで行われた。シンポジストを除く出席者は、141名であった。

ポスターをはじめ、新聞掲載などの宣伝が効を奏したものと思われる。

6. 事務局報告

なし

審議事項：

4. 新入会員審査

2名承認。

ただし1名については、紹介者の印がなかったので、押印してもらうことになった。

この件に関しては、今後申し込みカードの紹介者の欄に“印”の文字を印刷することになった。

その他：

1. 次回常任運営委員会開催日

平成5年1月29日(金)

議題予定

・機関誌次期編集委員の件

・常任運営委員選挙の件

1992年度第6回(1993年1月)

日本応用心理学会常任運営委員会議事録

日時：1993年1月29日(金)

場所：駒沢大学大学会館 3-2会議室

出席者：島田・大塚・大久保・大村・岡村・斎藤・高嶋・高橋・宮本・村井(中村・小野)

報告事項：

1. 第60回大会準備状況(島田会長)

第1号通信の文案、封筒・参加申し込み用紙の見本、シンボルマークなどが紹介された。特別企画、シンポジウム、アトラクションについても具体的に検討中であるとのことである。これについて、村井先生より日本心理学会大会のために来日する中国の孔氏の講演はどうかという提案がなされた。

2. 諸学会間連絡会関係(小野)

第3回の議事録のコピーを配布し、説明がなされた。特に、1994年度の目心において主催校(日大)と連絡会の共催で行われるシンポジウムのテーマについて、応心としてどのように対応するか、といった問題が指摘された。

3. 事務局報告(中村)

①名簿作成作業が遅れているが、3月頃までにはなんとか出したいと考えている。

②日本女子大への事務局移転は3月15日ぐらいまでに済ませたい。

審議事項：

1. 「応用心理士」(仮称)資格認定問題について

中村事務局長より、島田会長作成の草案について文言や内容の検討をおこなっているとの経過説明があった。この会議終了後に検討委員会を開く予定である。

2. 運営委員ならびに常任運営委員の選出について

現運営委員69名に手紙を出し、意向を聞いた結果、2名が死亡、4名が辞退、3名が未回答であった(ただし、4名の辞退希望者のうち数人については運営委員の辞退なのか、常任運営委員の辞退なのか判然としないので、事務局長が確認することになった)。

この結果を受けて、2月中に常任運営委員の選挙を郵

送方式で行う。開票立会人として、斉藤幸一郎、高橋たまき、村井健祐の3氏を選出した。開票日は立会人が協議のうえ決める。

新運営委員の追加は、必要に応じて行うが、総会の議を必要とするため常任運営委員の被選挙権はない。

3. 機関誌編集委員長の選出について

規定により編集委員長は常任運営委員の中から互選することになっている。また、規定第2条に、任期は1期2年とし2期を限度とするとあることから、村井健祐現委員長の再任を決定した。

4. シンポジウム「顔」第2回への協賛について

北星学園大の大坊先生よりシンポジウム「顔」の第2回を1993年3月1日に工学院大学で行う予定であるが、応心に協賛という形で協力してもらいたいとの依頼があった。応心としては了承することにした。このシンポジウムの主催は、シンポジウム「顔」実行委員会(東大原島研究室)、事務局はポーラ文化研究所内。

5. 新入会員審査

3名承認。

その他：

1. 次回常任運営委員会開催日

平成5年3月12日(金)

・旧常任運営委員で開催(4月からは新常任運営委員で) 以上

1992年度第7回(1993年3月)

日本応用心理学会常任運営委員会議事録

日時：1993年3月12日(金)

場所：駒沢大学大学会館 3-2会議室

出席者：島田・大久保、大村、神作、越河、駒崎、斎藤、高橋、田中、長塚、村井
事務局(中村、小野)

報告事項：

1. 第60回大会準備状況(島田会長)

①日本応用心理学会第60回大会特別企画の件。

②シンポジウムは5月中旬をめどに具体化する。

③賛助会員、広告主の募集。

④その他

2. 諸学会間連絡会関係(小野)

本年度最後(第4回)の連絡会が3月16日(火)に実務教育出版の会議室で開かれる。

3. 常任運営委員選挙開票結果(中村事務局長)

運営委員64名のうち、59名より回答があり、うち56名分が有効回答であった。3月4日、開票の結果、以下の24名が新しい常任運営委員に選出された(50音順)。

井上枝一郎 大久保康彦 大島貞夫 大塚博康 大村

政男 岡村一成 恩田 彰 垣本由紀子 神作 博
越河六郎 駒崎 勉 斎藤幸一郎 島田俊秀 高嶋正士
高橋たまき 長塚康弘 長谷川孫一郎 林 潔 肥田
野直 平野 馨 正田 亘 宮本 昇 宮本美沙子 村
井健祐

4. 編集委員会会計報告。

村井編集長より平成4年度の「応用心理学研究」編集費の会計報告があった。

5. 事務局報告(中村)

特になし

審議事項:

1. 運営委員の補充について

現運営委員のうち、死亡者が1名と、4名の辞退者があったので、今回の常任運営委員会で適当な人を推薦することにする。一応の規準としては、①過去の学会への貢献度、②将来の貢献見込み、③領域、などを考慮する。

2. 「応用心理士」(仮称)資格認定問題について

経過資料が配布された。検討委員会としては、あと数回委員会で審議した後で、常任運営委員会に諮りたい。議論として、①短期大学を含めることへの疑念、②名称を「認定心理士」とした場合、日本心理学会と同じになるが、その際の問題点、などが出され、懸案事項となった。

3. 新入会員審査

3名承認。

4. 平成5年4月より、中村事務局長が常任運営委員に復帰すること、高橋たまき氏が常任運営委員をはずれて事務局長に就任することが確認された。

その他:

1. 次回常任運営委員会開催日

平成5年4月17日(土)

2. 新旧事務局長挨拶

以上

1993年度第1回(4月)

日本応用心理学学会常任運営委員会議事録

日時: 1993年4月17日

場所: 日本女子大学(目白)図書館5F

出席者: 井上・大久保・大塚・大村・恩田・垣本・駒崎・斎藤・正田・島田・高嶋・中村・林・肥田・野・宮本・村井
事務局(高橋・中居)

報告事項:

1. 第60回大会準備状況(島田会長)

①第1号通信を3月末日に発送(932名)、現在22通は住所不定で戻ってきているが確認中である。

②シンポジウムの特別企画として、森 重敏氏・松村康平氏の助言を得て「応用心理学会の歩みを語る」を検討中である。

③過去の大会のプログラム等を整理して保管していく必要がある。今後、事務局と連絡を取り合い、協力の上進めたい。

④シンポジウムは認知心理学の問題、新生児の問題等を考えている。

⑤来週、第5回事務委員会を開催予定である。どの様に大会参加者を募るか一会場、宿泊場所、懇談会の場所等を検討中である。プログラム編集、公開講演に関しては、学会会員向け、一般向け等詰めていきたい。

2. 心理学諸学会連絡会関係(平野委員、小野委員ともに欠席)

緊急の問題はなかった。(平野委員のはがき連絡)

3. 編集委員会より(村井編集委員長)

①4編審査中、査読の結果他に2編、口頭で投稿を申し込んできている。最終的には6編までとしたい。締め切りは4月末日。しかし、確実なら5月10日頃まで待つ。

②編集委員の件

平木氏は辞任されたが、委員長指名で他の先生方には継続して頂くことになった。

運営委員に推薦されるのを条件に小野氏を編集委員に推薦する。垣本氏も推薦する。

4. 学術会議・学術研究団体の登録申請について(高橋事務局長)期日に遅れない様に、書式は斎藤先生に相談しながら進めたい。

5. 事務局報告(高橋事務局長)

①事務局移転に関して

3月25日に荷物、書類を駒沢大学より日本女子大に移した。現在、会員リストを作成中である。

②平成5年度の常任運営委員選出者のうち、宮本美沙子先生お一人が辞退された。

③ヨルダンの研究者から事務局宛に届いた手紙の紹介一興味のある方は事務局迄連絡を頂きたい。

その他:

1. 運営委員の推薦 小野浩一氏、荻野七重氏の紹介があり、全員一致で運営委員に推薦された。村井委員より推薦のあった土屋明夫氏も、小野氏と同じ立場で全員の承諾を得て推薦された。任期は承諾の日から2年とする。運営委員の推薦者は次回の委員会で締め切るとの報告があった。

審議事項:

1. 運営委員の補充について

補充は大会の貢献度を重要視する必要があるとし、その貢献度に関して意見が出され、以下の5項目を貢献度とする方向に決まった。

- ①大会委員長の経験
- ②運営委員会の幹事の経験
- ③連絡会委員の経験
- ④学会発表の経験
- ⑤会員年数
- その他
- ⑥運営委員として強い推薦のある人

但し、若くても以上の条件を満たせば運営委員として推薦されうる事が決まった。更に、運営委員全体として生理心理学の分野が少ないとの指摘があり、現在の運営委員を調べる必要があるとの提案があった。

2. 新入会員審査

14名承認

3. 幹事について(高橋事務局長)

幹事は2名を予定しており、1名は常任運営委員が幹事を兼ねる旨報告があり、井上氏が推薦された。

4. 次回常任運営委員会開催日

5月21日(金)

その他:

1. 大会開催校について

61回一城西大学、62回一立女子大学

61回、62回大会開催校についても検討していく必要があるのではないかと一立女子大では、八王子校舎より交通の便のよい神田校舎で開催出来るよう交渉していくとの報告があった。

2. 「応用心理士」(仮称)資格認定問題についての検討会は本日は中止とし、次回に開催。

1993年度第2回(1993年5月)

日本応用心理学会常任運営委員会議事録

日時: 1993年5月21日(金) 18:00~

場所: 日本女子大学 図書館5F会議室(目白)

出席者: 島田、井上、大島、大塚、大村、岡村、恩田、駒崎、斎藤、中村、林、肥田野、正田、宮本、松田(次回大会事務局長)
事務局(高橋、中居、久東)

報告事項:

1. 第60回大会準備状況(松田) 別紙(1)(2)

①記念特別企画の打ち合わせ予定 別紙(1)

②シンポジウム予定 別紙(別紙)

③賛助会員の募集 別紙(1)

依頼文発送済、予算案作成済

④その他

・準備委員会委員の役割分担 別紙(2)

・受付状況 別紙(1)

発表件数を増やしたいので、各運営委員に発表の勧誘を依頼する。

(なお、別紙(1)(2)は、委員会にご出席の場合、当日配布した資料をご覧下さい)

2. 事務局より報告(高橋)

①本学会を学術会議学術研究団体に登録申請準備中である。

②1993年度会員名簿を発送準備中である。

3. その他

①機関誌編集委員会より(大塚)

機関誌18号は、原著、資料併せて、9編を掲載予定である。ここ数年は、投稿数が増加しているので、年2回発行にしてはどうかとの提案があった。そのためには、発行費用、編集委員会のスタッフ増強を審議する必要がある。応用心理学会の発展には良いので、ぜひその方向で検討したい。

②会費値上げについて(一部審議事項)

①に基づき、次回大会総会までに、本委員会において、学会会費値上げ案を提出する。他学会の会費状況、機関誌発行状況などを調査し、事務局で予算案を作成する。

審議事項

1. 運営委員の補充について

提案予定者が欠席のため、次回委員会にて審議する事とした。

2. 次・次期大会開催校について

一立女子大学での開催について、会場決定を含め、今回の本委員会までに決定する。

3. 新入会員審査について

41名の新入会員が、審査の上承認された。

①新入会員が多いので、次回大会での発表申込が出来るよう、できるだけ早く、手続きを完了し、大会第1号通信を発送する。

②大会で発表できる新入会員の入会時期を、3月末、5月末のように明確に定めたい。

4. 次期常任運営委員会開催日

6月25日(金)

以上

1993年度第3回(1993年6月)

日本応用心理学会常任運営委員会議事録

日時: 1993年6月25日(金) 18:00~

場所: 日本女子大学 図書館5F会議室(目白)

出席者: 島田、井上、大久保、大村、岡村、垣本、越河、駒崎、中村、長谷川、林、宮本
事務局(高橋、中居、久東)

報告事項:

1. 第60回大会準備状況報告(島田)
 - ① 5月25日に打合せ会開催済み
 - ② 報告事項(別紙報告資料参照)
 - (1) 第60回大会特別企画
 - (2) シンポジウム
 - (3) 賛助会員の募集済み(予定達成)
 - (4) 受付状況
 - (5) プログラム編集中
2. 心理学諸学会間連絡会報告(平野, 岡村)
 - ① 6月23日に1993年度第1回連絡会開催済み(別紙連絡会資料参照)
 - ② 連絡会会計報告により, 前年度は24,520円の赤字であった。
 - ③ “サイコロジスト” 第30号編集担当は行動分析学会, テーマは「心理学の専門性」に決定した。
3. 事務局より報告(高橋)

会員名簿939部を発送済み

審議事項:

1. 平成4年度決算報告(中村)(別紙資料参照)
2. 平成5年度予算案について(高橋)
 - ① 今年度は事務局交代のための封筒, 入会申込書, 入会のしおりの印刷費用, 名簿, 機関誌等の発送費用がかかるため, 印刷費, 通信費を増加した。
 - ・ 機関誌発送は学術刊行物扱いにすると費用が安く済む
 - ・ 収入を増加させる見込みは難しい
 - ・ ミニ通信費は, 今年度も必要なのではないか
 - ・ 機関誌発行回数を年2回にするか, 等の議論がなされた。
 - ② 以上の事由で, 財政逼迫の折り, 会費値上げを検討すべきである。(3.で検討)
 - ③ 次回本委員会までに, 予算修正案を提示する。
3. 平成6年度よりの会費値上げの検討

他の心理学関連学会の会費を調査した上での検討がなされた。

現行の4,500円から, いくつかの値上げ案(5,000円, 6,000円, 6,500円, 7,000円)があり, 議論の後, 本委員会では, (1) 平成6年度から, (2) 会費6,000円の案で, 60回大会総会に提出することになった。
4. 次・次期大会開催校について

共立女子大学・神田校舎で開催されることに決定

した。

5. 新入会員審査について

7名の新入会員が, 審査の上承認された。
6. その他
 - ① 認定「応用心理士」要項案について

要項文案を修正し, 本委員会としては, 運営委員全員の承認を図り, 次回7月の運営委員会で最終的に決定する。さらに, 60回大会総会に提出する。
 - ② 運営委員の補充について

荻野, 小野, 土屋各氏に決定した。まだ, 3名欠員があり, 今後継続審議する。
 - ③ 学会活性化について

学会を活性化するために, 例えば学会賞のようなものを設けたらどうか。今後, 継続審議する。
7. 次期常任運営委員会開催日7月24日(土)

以上

新入会員(1992・9月～3月)

会員異動

新入会員(氏名, ①現住所, ②所属)

千葉 浩彦

②淑徳大学 専任講師

萩原 茂

②埼玉県立越谷西養護学校教諭

久留 一郎

②鹿児島大学 教育学部 教授

加藤 博己

②駒澤大学大学院人文科学研究科心理学専攻修士課程

河原 宣子

②三重県立看護短期大学 助手

小木曾加代子

②立川相互病院

永井 慎司

②

西川 一廉

②

越智 啓太

②警視庁 科学捜査研究所

岡本眞一郎

②東京都立忍岡高等学校 教諭

櫻井 千鶴

②話し方能力開発センター

佐藤 佳子

②

田中千鶴子

②

内田 芳夫

②鹿児島大学 教育学部 教授

境 邦 愛

②神奈川県総合リハビリテーションセンター

桜井 広幸

②

山 中 寛

②鹿児島大学 教育学部 助教授

新入会員 (1993年4～6月)

上垣 博和

②関西学院大学修士過程

上田美紀子

②立教大学大学院在学中

船津 孝幸

②久留米大学文学部

立 元 真

②広島大学大学院教育学研究科博士過程

田 中 豊

②学習院大学大学院政治学研究科

深見 一也

②人吉農芸学院教育部門

吉 田 甫

②宮崎大学教育学部

稲川 亜子

②早稲田大学大学院文学研究科修士課程

難 波 薫

②関西学院大学文学研究科在学中

仮屋園昭彦

②広島大学教育学部

綾見 克典

②名古屋工業大学

金井 悦子

②日本赤十字武蔵野女子短期大学

服 部 環

②宇都宮大学教育学部

名越 秀人

②鹿児島市立皇徳寺小学校

櫻坂 英子

②日本大学文学部助手

園谷 高志

②鹿児島大学教育学部

是比田真由美

②東日本旅客鉄道(株)安全研究所

樋 口 豊

②駒沢大学大学院

山根はるみ

②駒沢大学人文科学研究科心理学専攻

林 幸 範

②社団法人日本看護協会調査研究室

畑山恵美子

②駒沢大学大学院人文科学研究科心理学専攻
久東 光代

②日本女子大西生田計算研究所
国師 洋之

②鹿児島市立名山小学校
丸山 昌一

②日本大学大学院 研究生
小久保博幸

②鹿児島市立名山小学校 教諭
鈴木 浩明

②財団法人 鉄道総合技術研究所
宮原美佐子

②財団法人 鉄道総合技術研究所
許 佳美

②関西学院大学文学部
高橋 郁

②日本大学文学研究科心理学専攻
矢野 伸裕

②科学警察研究所
山下 雅子

②日本大学文学研究科心理専攻
飯島 昭子

②埼玉医科大学付属病院
仲内 雅子

②奈良県立医科大学付属病院
甲斐 友子

②日本医科大学付属第2病院
岡崎美代子

②関西学院大学大学院在学中
和田 佳子

②日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士前期課程
竹林 直美

②熊本精神病院
加藤由美子

②名古屋市立大学付属病院
時 田 学

②日本大学大学院文学研究科心理学専攻
高取見也子

②関西学院大学文学研究科教育学専攻
堀口 陽子

②奈良県立医科大学付属看護専門学校
田中 治畿

②練真幼稚園
大川 一郎

②筑波大学心理学系
藤生 英行

②筑波大学心理学系
小野 絃明

②富士ゼロックス総合教育研究所
徳 田 豊

②鳥取県警察本部科学捜査研究所
伊藤 恭子

②日本放送協会放送文化研究所
諸橋 麻紀

②(株)木の城たいせつ
荒木美千子

②東邦大学医療短期大学
松 井 洋

②川村学園女子大学文学部

藤井千加子

②九州大学付属病院

蔵本 逸雄

②MOA九州生命科学研究

新納 明子

②加治木温泉病院

内田 誠也

②MOA九州生命科学研究所

仁ノ平幹夫

②立教大学文学研究科心理専攻

井田 博子

②医療法人信愛会玉名病院

辻田 知子

②関西学院大学文学部

外松 弘充

②日本大学大学院文学研究科心理専攻

宮本 真弓

②北海道手稲養護学校

大西由希子

②北星学園大学大学院文学研究科

糸井志津乃

②日本赤十字看護大学大学院在学中

退会者(学会費長期滞納者を含む)

秋庭信夫, 小林幹児, 新井広裕, 桜井研三, 井ヶ田勢津子, 鈴木辰雄, 石川 昭, 千葉典子, 江見佳俊, 鶴光代, 及川次郎, 長沼勝利, 大石史博, 中野佐世子, 岡田喜久, 長谷川邦子, 岡田玲一郎, 藤木伸顕, 小原甲子, 松田岩男, 加賀谷郁子, 森 和彦, 梶塚隆光, 森口訓孝, 小泉滋子, 山岡一信, 石川英夫, 渡辺文夫, 生田博之, 中村真祐美, 土井英彦, 堀内安男, 吉竹 博

死 去

安倍 淳吉(名誉会員)

寄贈文献

学会事務局に以下の雑誌類・著書(平成5年3月まで)が寄贈されていますのでご利用下さい。

一定期刊物一

母子保健情報(恩賜財団母子愛育会日本総合愛育研究所)1992第26号

CODER NEWS LETTER(発達科学研究教育センター)1992 Vols. 24, 25, 1993, Vol.26

電気通信普及財団研究調査報告書(電気通信普及財団)1993 No. 7

電話相談学研究(全国電話相談研究会)1989 Vol. 1, 1990 Vol. 2

発達研究:発達科学研究教育センター紀要(発達科学研究教育センター)1992 Vo. 8

発達障害研究所年報(愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所)1991 第20号

放送研究と調査(NHK 放送文化研究所)1992 8, 9, 11, 12, 1993 1, 2, 3

Hiroshima Forum for Psychology (Hiroshima University) 1989 Vol. 14

児童教育研究(安田女子大学児童研究会)1992 創刊号, 1993 第2号

人事試験研究(日本人事試験研究センター)1992 No. 144, 145

上智大学心理学年報(上智大学心理学科)1992 第16巻
International Association of Traffic and Safety Sciences(国際交通安全学会)1990 Vol.16, No. 4, 1992 Vol. 18, Nos. 2, 3, 4

人文研究(神奈川大学人文学会)1992 No. 114

科学警察研究所年報(科学警察研究所)1992

科学警察研究所報告(科学警察研究所)1992 33巻 1号

海外の日本語教育の現状(国際交流基金 日本語国際センター)1990

関係学研究(関係学研究編集委員会)1990 第18巻 第1号

慶応義塾大学大学院社会学研究紀要(慶応義塾大学大学院社会学研究科)1992 第34号

研究紀要(国立身体障害者リハビリテーションセンター)1991 第12号

化粧文化(ポーラ文化研究所)1992 第27号

基礎心理学研究(日本基礎心理学会)1992 11巻1号
子どもと家庭福祉情報(恩賜財団母子愛育会日本総合愛育研究所)1992 Vol. 5

名古屋大学教育学部紀要・教育学科(名古屋大学教育

学部) 1992 第39巻 第1号

名古屋大学教育学部紀要・教育心理学科(名古屋大学教育学部) 1992 第39巻

日本語国際センター紀要(国際交流基金 日本語国際センター) 1992 第2号

日本語教育論集 世界の日本語教育(国際交流基金 日本語国際センター) 1992 第2号

産業安全研究所年報(労働省産業安全研究所) 1989年
指導と評価(日本教育評価研究会) 1991 Vol. 37 No.
3, 1992 Vol. 38 Nos. 8, 9, 10, 11, 12, 1993 Vol.
39 No. 1, 2, 3

職業指導学国際会議報告書—第7回—(職業指導学国際会議事務局) 1991

帝京大学文学部紀要・心理学(帝京大学文学部心理学科) 1991 第1号

テレビ・ラジオ番組視聴率調査・全国結果表(NHK世論調査部) 1992

テレビ・ラジオ番組個人視聴率調査・全国結果表

(NHK 世論調査部) 1992

東京学芸大学紀要(東京学芸大学紀要出版委員会) 1989 第42集

筑波大学心理学研究(筑波大学心理学系) 1992 第14号

山梨大学教育学部研究報告(山梨大学人文社会学系) 1991 第42号

山梨大学教育学部紀要(山梨大学教育学部) 1992 第6号

—図書—

あなたの会社のブランド商品づくり入門 油谷遵著
中経出版 1991 ローレンツとは誰だったのか——ある
サイコグラムの試み ノベルト・ビショップ著 今泉み
ね子訳 白水社 1992

保育内容総論 森重敏著 家政教育社 1992

Mathematical Humanities via Humanized Mathematics. Polac, V. Davay, Brno, Czechoslovakia